



豊後大野市の高齢者の健診・医療・介護のようす



【参考資料】人口・介護）各年3月末時点データより（高齢者福祉課作成）
医療）MAPシステム疾病分類別医療費分析～生活習慣病分類～（令和5年度抽出）

健診）健診有所見・国保受診率：保健指導支援「新・とよ助」（令和5年度抽出）
生活習慣：MAPシステム質問票調査の状況（項目別）（令和5年度抽出）
後期受診率：MAPシステム医療費分析と質問票調査の状況より算出（令和5年度抽出）
令和6年6月 豊後大野市役所市民生活課健康推進室 作成

人口

令和4年度時点では、県内18市町村のうち、人口は8番目に多く、高齢化率は5番目に高い地域です。

	人口	世帯数	うち、高齢者のみ世帯		うち、高齢者1人暮らし		人口に占める高齢者の割合	
			うち、高齢者のみ世帯	うち、高齢者1人暮らし	65歳以上人口割合	75歳以上人口割合		
令和5年3月	33,156 人	15,734 世帯	2,960 世帯 (18.8%)	4,350 世帯 (27.6%)	44.8%	26.3%		
令和6年3月	32,452 人	15,588 世帯	2,937 世帯 (18.8%)	4,401 世帯 (28.2%)	45.5%	27.3%		

※順位：令和5年度「KDB」でみる大分県（令和6年2月）大分県国民健康保険団体連合会

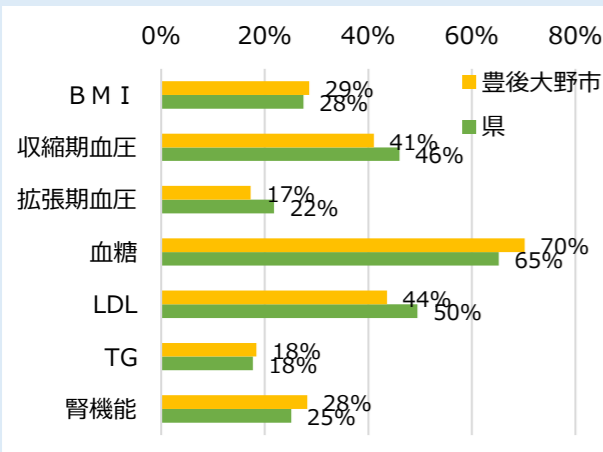
健診

〈国民健康保険：40歳～74歳 n= 5,283 〉

健診受診率 43.9%
(県の受診率 37.8%)

国民健康保険、後期高齢者保健の健診受診率はどちらも市内で最も高くなっています。

◆健診有所見率 n= 2,297



◆生活習慣（健診時の質問票より）

	市	県
たばこを吸っている	12.3%	11.8%
20歳時体重から10kg以上増加	33.4%	35.1%
人と比べて歩くのが遅い	61.5%	52.1%
人と比べて食べる速度が速い	27.6%	28.6%
間食を毎日とっている	18.9%	21.5%
週3回以上朝食を抜くことがある	6.0%	9.4%
お酒を毎日飲んでいる	25.3%	23.9%
睡眠が十分とれていない	28.3%	25.0%

〈後期高齢者医療保険：75歳以上 n= 8,621 〉

健診受診率 25.3%
(県の受診率 22.3%)

◆生活習慣（健診時の質問票より） n= 2,183

	市	県
健康状態がよくない・あまりよくない	11.4%	10.4%
お茶や汁物等でむせる	20.6%	21.4%
6ヶ月で2～3kg以上の体重減少あり	11.7%	12.3%
以前に比べて歩く速度が遅い	58.5%	55.8%
この1年に転倒あり	21.9%	19.2%
ウォーキングなどの運動習慣あり	62.6%	62.6%
同じことを聞くなど物忘れあり	14.2%	15.4%
週に1回以上の外出あり	91.9%	91.7%

健康状態不明者

75歳以上のうち、約 1.0%の方が健診・医療・歯科の受診をしておらず、介護も受けていない、「健康状態がわからない方」です。
重篤な病気が潜んでいる可能性もあるので、まずは健診を受けましょう。

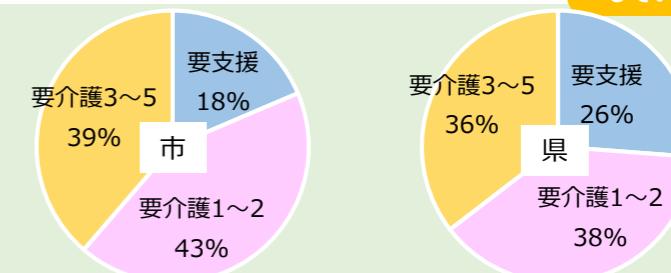
※健康状態不明者：令和4年度、令和5年度の2年度において、健診受診、介護認定、医療（入院・外来・歯科）受診のいずれの情報もない者

介護

介護保険の認定を受けている人の割合(65歳以上)

21.6% (県内で最も高い)

介護サービスを受給している方の割合



参考）グラフ：介護保険事業状況報告 月報（暫定版）厚生労働省より 令和6年4月時点

◆豊後大野市の年代別介護認定状況

年齢区分	人口(人)	認定数(人)	認定率(%)
70歳～74歳	3216	145	4.51
75歳～79歳	2827	241	8.52
80歳～84歳	2154	480	22.28

なんと
約2.5倍に!!

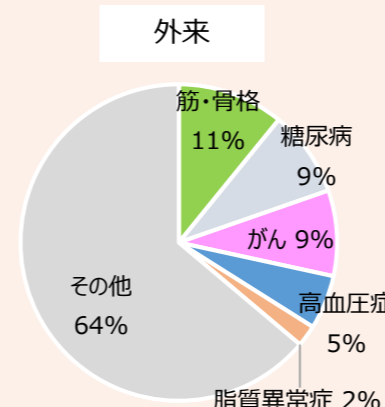
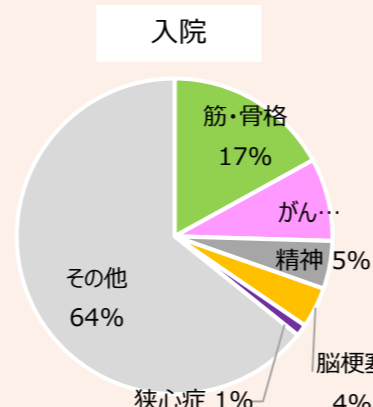
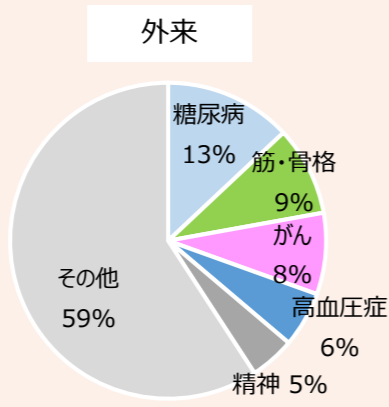
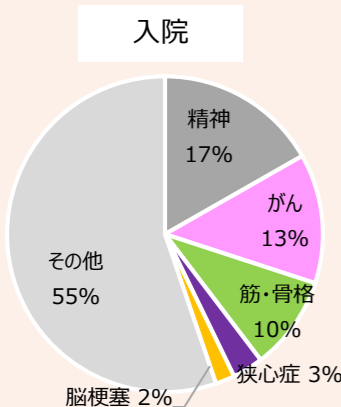
80歳以降、介護の認定率が上昇しています。
75歳以降どう生活するかによって今後の健康状態が大きく左右されます。

医療

◆医療費に占める疾患の割合

〈国民健康保険：40歳～74 n= 5,916 〉

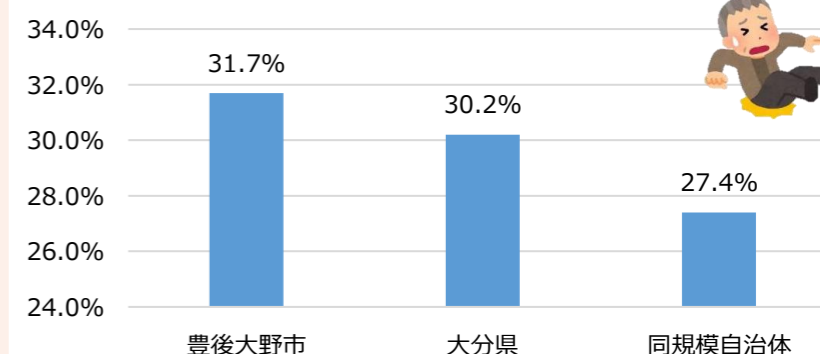
〈後期高齢者医療保険：75歳 n= 8,621 〉



入院医療費ではがんの医療費割合が高くなっています。また、狭心症、脳梗塞、の医療費割合も高くなっています。外来では、糖尿病、筋・骨格の医療費割合が高くなっています。

入院医療費では、筋・骨格疾患の医療費割合が最も高くなっています。外来医療費でも、筋・骨格の医療費割合が最も高くなっています。また、糖尿病、高血圧症、脂質異常症といった生活習慣病の医療費割合も高くなっています。

●最大医療資源*1による筋・骨格疾患の医療費の割合



参考）KDBシステム 健診・医療・介護データからみる地域の健康課題（令和5年度累計）

筋・骨格系疾患は県平均や同規模自治体と比べても多い状況です。

*1最大医療資源とは、医療のレセプトデータから最も医療資源（診療行為、医薬品、特定機材）を要したものを指す。